

# 地域コミュニティの防災活動支援者を育成するための 地域防災ファシリテーション「形」

KATA

災害過程研究部門 李 泰榮

## Point

- 地域コミュニティの防災活動を効果的に支援（地域防災ファシリテーション）で  
きる人材育成のための教育方法論
- 防災活動のデザインに必要な「災害リスクマネジメント」と、活動実践者の意思  
決定に必要な「OODAアプローチ」を適用
- 地域防災に関する専門知を活かす、かつ、地域状況の変化に応じて柔軟な防  
災活動のデザインと支援が可能

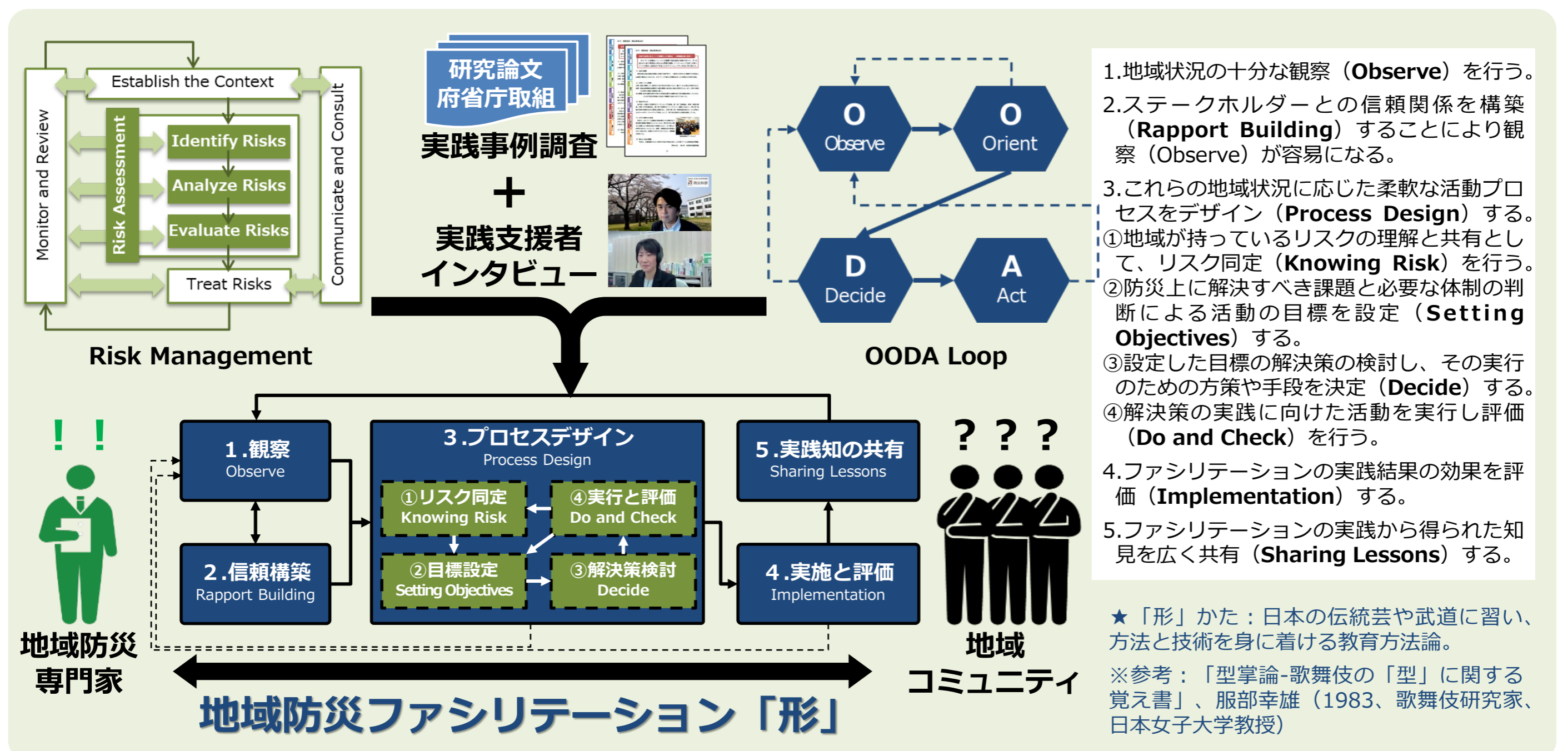
## 研究の領域

予防	応急対応	復旧・復興
予測・情報力		
防災基礎力		

## 概要

地域コミュニティの防災活動においては、リスクマネジメント（ISO31000）の考え方を基に、地域で起こりうる災害を理解し、災害時の課題を把握したうえで、対応策を検討していくことが重要である。そのため、地域コミュニティの防災活動の場に地域防災の専門家が派遣され、地域防災に関する専門的な知識や経験が活かされたワークショップなどの防災活動が実践されている。

しかし、数多く存在する地域コミュニティを担えるほどの地域防災の専門家が育成されておらず、必ずしもファシリテーションの専門家とはいえない。そこで、地域防災ファシリテーションを担う人材育成に着目し、地域課題の解決に向けた国内の取り組みや先行研究上の事例調査を通じて、地域防災の専門家が実践したファシリテーションの知見を体系化しつつ、地域防災ファシリテーション「形」を提案する。



## 今後の展望・方向性

- 地域防災に関する研究者に加え、行政職員や中間支援組織などが行った地域防災ファシリテーション実践事例の収集・分析を通じて「形」の普遍化・一般化を行う。
- 地域防災ファシリテーション「形」をもとに、防災活動の実践を支援する人材育成に必要な評価軸、情報プロダクト（YOU@RISK等）、方法論をまとめた教材化を行う。
- 地域コミュニティと協力し、防災活動の実践支援を通じたファシリテーション「形」の効果検証・高度化を行う。

